

めぐみ

ガラシア
健康ニュース
2017
No.153

院長のあいさつ
回復期リハビリテーション病棟ご紹介
新任ドクターの紹介
老健だより
ホスピスだより
聖歌隊
芝桜プロジェクト

新しい歩みに向けて

今年の幕開けはいつにもまして期待と不安の入り混じったものとなりました。すでに、昨年から世界も日本も、そしてガラシア病院にも大きな変化の潮流が始まったように思います。この1年はのちに振り返った時に記念すべき1年になりそうな予感がします。

日本では繰り返す震災の記憶をとどめようと、様々な取り組みがなされています。一方、世界を見ますと悲惨な大戦の反省から生まれたはずの欧州統合がわずか戦後70年でその存立の危機にたっています。また、自国を最優先すると宣言した大統領が誕生し、まさに混乱が始まろうとしています。世界中が他者に不寛容になってきて日常生活の中でもなんとなく居心地の悪さを感じるようになってきました。異質なものに眉をひそめて嫌悪感を隠そうとしない風潮が強くなりつつあるように思うのは杞憂でしょうか。いろんな問題はすでに地球規模に拡大しているにもかかわらず、意識の上では依然として一人一人の感情や欲望が支配しています。他の生命を生きる糧にしなければならない食物連鎖の頂点にある人類が果てしなく欲望を充足しようとすれば争いは永遠に尽きないように思います。

宮澤賢治の詩「雨ニモマケズ」の1節が新鮮に響きます。
「アラユルコトヲ ジブンヲ カンジョウニ入レズニ
ヨクミキキシワカリ ソシテワスレズ」

ガラシア病院は昨年電子カルテを導入しました。皆様のご協力のおかげで大きなトラブルもなく紙カルテから電子カルテへ移行できました。これからIT技術を活用し安全や効率化をさらに進めていきたいと思っています。今年は病院の建て替えという半世紀に1度の事業に取り組みます。現在の建物は48年を経過し、さすがに劣化の部分が目立つようになりました。外観は年代を感じさせますがその頑丈さは阪神淡路大震災当日の当直医が朝まで気が付かなかったというエピソードが物語っています。内部にも当時の人々が病院設立に込めた思いを随所に感じます。私たちが50年後の評価に耐えうる病院を目指してこの1年汗を流そうと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。

医療法人ガラシア会 ガラシア病院
院長 伊藤 則幸



回復期リハビリテーション病棟ご紹介

在宅復帰へ向けたリハビリを提供します



【理学療法室】



【作業療法室】



【言語聴覚室】

■ 充実したリハビリテーションセンター

当院のリハビリテーションセンターは別棟にあり1、2階あわせて700㎡の広く充実した設備のもとリハビリが行えます。当院のリハビリテーション施設基準は、脳血管疾患等リハビリテーション料I、運動器リハビリテーション料Iとなっています。

■ 徹底したチームアプローチ

定期的なカンファレンスやミニカンファレンス及び電子カルテを活用しチーム一丸となって、患者さんの回復を支援します。

■ リハビリテーションを365日実施し機能回復をサポート

発症からできるだけ早く、集中的なリハビリテーションを行うことが効果的とされています。

当院では土・日・祝日を含め 365 日リハビリテーションサービスを提供しています。



チームアプローチ図

※ 循環器内科・精神科・皮膚科などの専門医にも相談する事が可能で、安心してリハビリテーションが受けられます。

地域との連携を推進します

入院時よりケアマネジャーなど地域の関係機関スタッフと情報交換を行い医療・介護両面で退院後の生活の支援を行っています。

介護保険など必要な社会資源の申請手続きの援助や退院にむけた家屋訪問の実施・家屋改修や福祉用具選定のアドバイス・ご家族への介護指導など地域の関係機関と連携して行っています。

退院後も医療と介護両面で継続したリハビリを提供します

ガラシア病院：外来リハビリテーションを行っています。※条件を満たしている方のみ

ガラシア訪問看護ステーション：24時間体制で療養者を見守り、在宅リハビリテーションとその指導を行います。

ケアプランガラシア：介護保険認定の申請代行業務やケアプランの作成を行っています。

ニューライフガラシア（老健）：デイケアで、リハビリテーションを実施しています。

入院ご希望の方へ

○ 入院できる期間は、疾病や傷病名によって日数が決められています。

たとえば、脳梗塞や脳出血などは150日以内、高次脳機能障害（脳がダメージを受け、記憶・思考・言語などの機能が低下した状態）を伴った重症の脳血管障害は180日以内、大腿骨頸部骨折、廃用症候群は90日以内、股関節・膝関節などの神経、筋や靭帯損傷は60日以内となっています。実際には患者さまの状態等により、スタッフと相談しながら決めていきます。まずは、現在入院中の病院の主治医やソーシャルワーカーにご相談ください。



【病室(個室)】



【ダイニング】

入院相談は、地域連携室 電話・ファックス 072-729-5599 までご連絡ください。

新任ドクターの紹介



診療部長
阿曾沼 克弘

専門科 一般外科・小児外科・移植外科

趣味 ギター弾き語り(YouTubeで「王様と王子」と検索を)、踊り(余興のダンス)

モットー 「出逢いとこだわり」(人生にはいろいろな出逢いがありますが、多くは傍らを通り過ぎて行きます。その中で「これは!」と感じた出逢いには、とことんこだわっていきたくと思っています)

抱負 今年の1月からガラシア病院にお世話になっております。昭和56年京都大学を卒業し、消化器外科、小児外科、移植外科(肝臓移植)などに携わって来ました。長年、専門性の高い分野で働いてきたので、つぶしの効かない、あまり役に立たない医者になってしまいました。ここ数年は主に高齢者の医療に関わってきました(ネットで「熊本王様会」と検索を)。今後は、地域包括ケアシステムにおける高齢者の医療・介護の連携などに取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

老健だより

「阿曾沼先生 老健5階に初登場!!」

阿曾沼先生がギターを持って、5階フロアに弾き語り演奏に来て下さいました。

阿曾沼先生の演奏される曲に乗って、利用者様は楽しく歌って、大盛況のうちに終了しました。利用者様はとて楽しい時間を過ごされた様で、次はいつ演奏に来てくれるの?という声が聞こえてきました。



ホスピスだより

日本ホスピス緩和ケア協会の認証を受けました

ガラシア病院ホスピスでは、今年度から日本ホスピス緩和ケア協会が主導して開始されたホスピス・緩和ケア病棟の認証制度に向けた取り組みを行い、無事認証を受けることができましたのでご報告いたします。

認証制度はホスピスのケアの質を評価・公開することにより、すべての施設で質の高いケアが提供されること、社会から信頼される施設となることを目的として実施されています。具体的には以下の3点の実施が求められます。

- 1) 協会が毎年行っている施設概要・利用状況調査に回答し、結果を社会に公開する＝公開
- 2) 自施設評価共有プログラムを実施する＝自律
- 3) 第三者からの評価(遺族による評価：J-HOPE研究)を受ける＝謙虚

ガラシア病院ホスピスでは、今年度自施設評価共有プログラムを行い、全項目でA評価をいただいて認証を受けることができました。

1, 3)には以前から取り組んで来ましたが、今年度実施した自施設評価では、ホスピスに関わる多職種で現時点で達成できていること/今後の取り組みについて共有を行い、普段のケアを振り返る貴重な機会を得ました。

認証を受けることがゴールではなく、ケアの質向上に向けて継続した努力を続けることが重要であると認識し、今後もひとりひとりの患者さんおよびそのご家族に安心して療養していただき、「ガラシア病院に来て良かった」と言ってもらえるようにスタッフ一同で取り組んでいきたいと考えております。

ホスピス科 前田一石

聖歌隊

ガラシア病院創立60周年を記念して創設された聖歌隊が、徐々に活動を広げています。歌によって職員間の親睦を深め、イベントや行事のときに歌いたいと始めました。それから、ホスピス病棟での歌の奉仕、クリスマス会での、みことばの祭儀で聖歌奉仕をしました。練習は、月二回、昼休みにチャペルで行っています。聖歌だけでなく、季節に合わせた親しみやすい歌も練習し、いろいろな歌を歌うことによって、聴いていただく方にも音楽の喜びを伝えていきたいと思ひます。

ケアプランガラシア 秋月裕美子



芝桜プロジェクト

昨年12月、ガラシア病院の中庭では神父さん、ボランティアの牛田さんが中心になり、斜面に芝桜を植える作業が行われました。

濃いピンク色と白色の芝桜で斜面にハート形を書くのが目標です。斜面での作業になりますので、とても疲れる上、ちょっと気を抜くと滑り落ちてしまって危険です。大変な作業ですがお二人とも作業に没頭しておられました。

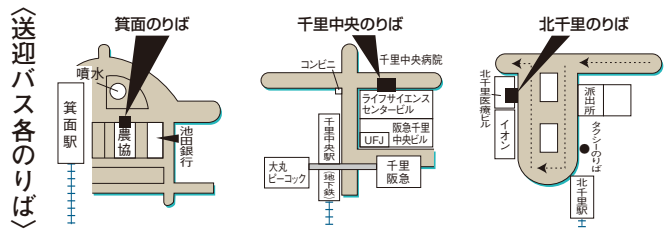
芝桜が咲くのは4月。

神父さんの思い描いたきれいなハート形を見ることができるでしょうか。

今から楽しみです。



●千里中央・北千里・箕面駅からシャトルバスを運行しています。



ガラシア訪問看護ステーション

TEL 072-727-1866 FAX 072-729-3311

介護老人保健施設

ニューライフガラシア

TEL 072-729-2346 FAX 072-729-7951

指定居宅介護支援事業所

ケアプラン ガラシア

TEL 072-729-2347 FAX 072-729-3311

箕面市東部地域包括支援センター

TEL 072-729-1711 FAX 072-730-2230



日本医療機能評価機構認定病院

〒562-8567 大阪府箕面市粟生間谷西6丁目14番1号

TEL.072-729-2345 FAX.072-728-5166

http://www.gratia.or.jp/



■診療受付時間

平日 / 8:30~11:30

12:30~15:30

土曜日 / 8:30~11:30

■休診日

日曜、祝祭日、土曜午後

8/15、12/25、12/30~1/3

編集後記

少しずつ草花の芽がかおを出し、やっと春の足音が聞こえて来ましたね。今回のめぐみは回復期リハビリ病棟をクローズアップしています。日本の高齢化率もついに26%を越え諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。回復期リハビリ病棟を含めガラシア会では「年老いても、住み慣れた地域（自宅）で過ごしたい!」という思いを支えていきたいと考えています。又芝桜プロジェクトでは、次号でハート型に咲いた芝桜を掲載する予定ですので、ご期待を!

U.K



編集・発行 広報委員会